※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | T3011 |
|---|---|

# 令和５年度　数学科

| 教科 | 数学 | 科目 | 数学Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高校数学Ⅰ（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・まずは、自分の中の「わからない」を見つけましょう。説明文や式変形の、どこからわからなくなったのかをはっきりさせましょう。この授業では毎時間プリントを提出してもらい、理解しきれていないところを把握します。
・そうして見つけた「わからない」を「わかる」に変えるには、説明を繰り返し聞いたり方法を真似してみたりしながら、時間をかけて考える必要があります。授業のなかでしっかり考える時間を大切にしましょう。
・ただし、「わかる」だけでは実はすぐに忘れてしまいます。わかったと感じたときは、繰り返し練習問題を解くなどして、「わかる」を「できる」に変えましょう。

## 2　学習の到達目標

・数と式・図形と計量について、基本的な概念や法則への理解や、いろいろな事象を数学的に表現・処理する技能を身に付けます。
・難しいと感じるような問題に対しても、学習した手法から適切なものを選んだり、そこから考察したりする力の基礎を養います。
・数学のよさを感じたり、数学的な考え方を生活のなかで活用しようとしたりする態度を身に付けることを目標とします。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 数と式、図形と計量についての基本的な概念や原理・法則を理解している。<br>事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 | 数や式を目的に応じて適切に変形する力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付けている。 | 自ら考える姿勢を持ち、粘り強く考え、数学的に考察しようとしている。<br>自分の学習態度を振り返り、改善しようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="3">前期</td><td>整式</td><td>・文字式のきまり<br>・整式の計算<br>・展開(乗法公式)<br>・因数分解<br>（乗法公式・たすき掛け）</td><td rowspan="6">a:・基本的な計算や解法を理解しているか。<br>（式の展開、因数分解、√の四則計算、1 次方程式・不等式の計算）<br><br>b:・式の展開において、分配法則・乗法公式・置換などの方法を、使い分けたり、組み合わせたりしているか。<br>・数値化できる事柄について、不等式や三角比などを活用して数学的に表し、考察しているか。<br><br>c:・授業ﾌﾟﾘﾝﾄに自分の言葉で書き込みをしているか。<br>・自分の学習を見つめなおし、改善しようとしているか。<br>・積極的に発言し参加しようとしているか。</td><td rowspan="6">プリント<br>小テスト<br>定期考査<br>など</td><td rowspan="6">プリント<br>授業観察<br>など</td><td rowspan="6">プリント<br>発問への反応<br>Google フォーム提出<br>など</td></tr>
<tr><td>実数</td><td>・平方根<br>（四則計算・有理化）<br>・小数と分数<br>・無理数</td></tr>
<tr><td>方程式と不等式</td><td>・文章からの立式<br>・1 次方程式<br>・不等式の性質<br>・1 次不等式<br>・不等式の利用</td></tr>
<tr><td rowspan="2">後期</td><td>三角比</td><td>・三角比<br>・三角比の利用<br>・三角比の相互関係</td></tr>
<tr><td>三角比の応用</td><td>・三角比の拡張<br>・三角形の面積<br>・正弦定理<br>・余弦定理<br>・正弦定理と余弦定理の利用</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度